

あけましておめでとう  
ございます。

会社創業以来一貫して  
養鶏場オートメーション  
に取り組み、今年で43年  
目を迎えます。

7年前からは、アジア  
でのレイヤー農場の本格  
的オートメ化を具現え、  
ドイツでの生産を終了、  
研究・開発は日本、自社  
工場は中国天津の体制に  
移行しました(ニップ

工場は中国天津の体制に  
移行しました(ニップ  
ル、オガールなどは、ド  
イツ、イタリアほかの部  
品との連携は維持、強  
化)。

本年は、最近の弊社事  
業展開の5つのポイント  
をご紹介します、新年のご  
挨拶とさせていただきます  
です。

第一は、天津自社工場  
の品質管理を徹底し、メ  
イドバイ・ハイテム、高  
性能で納得いただけるハ  
イテム設備の製造です。  
日立、キヤノン等日本の  
多くの有力メーカーは中  
国に工場を有し、日本の  
ものづくり品質を堅持し  
生産をしていますが、中国  
ではなく、メイドバイ・日  
立であり、メイドバイ・  
キヤノンです。農産物、  
海産物は、生産地の風土  
の影響を受けますが、工  
業製品は、生産国の風土  
に影響されな完全な品  
に製造することができます。



(株)ハイテム 代表取締役社長 安田 勝彦

# メイドバイ・ハイテム

弊社を東南アジアでもト  
ップ農場に焦点を合わせ  
てシエア10%。これによ  
り、高いシエアを目指す  
日本、各10%シエアを目  
指す中国、東南アジア等  
れぞれで、弊社の売上が  
大化する設備をアピール  
平均15%にすることがで  
きます。

第四は、日本の先進農  
業のノウハウを継承し、  
アジア市場が広域化し  
ていく潮流の中、アニマ  
ルウェルフェアについて  
共通の方向を目指してい  
くことにも意義があると  
思います。

日本の農場に安心してい  
ただけるよう防疫管理を  
目指していきたくと考え  
ています。

第二は、タマゴ王国日  
本の現場で磨いているハ  
イテム設備のアジアへの  
輸出です。世界人口の約  
の100%産、インドグ  
駆動ローラー、ステン

第三は、環境にやさし  
く、当たり2000羽の石  
炭の約半分のエネルギー  
があり、発電燃料となる  
可能性がります。取り  
除き年間100個以下の  
で、市場拡大の余地は大  
意とするレイヤー直立ベ  
ル、オガールなどは、ド  
イツ、イタリアほかの部  
品との連携は維持、強  
化)。

第五は、多段式プロイ  
ン(岐阜県各務原市テク  
ノロジーセンター10)

第三は、環境にやさし  
く、当たり2000羽の石  
炭の約半分のエネルギー  
があり、発電燃料となる  
可能性がります。取り  
除き年間100個以下の  
で、市場拡大の余地は大  
意とするレイヤー直立ベ  
ル、オガールなどは、ド  
イツ、イタリアほかの部  
品との連携は維持、強  
化)。

第五は、多段式プロイ  
ン(岐阜県各務原市テク  
ノロジーセンター10)